

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-1-3		事業名	高齢者ひとくち講座・口腔ケア推進事業
担当	保健福祉局保健福祉部介護保険課 根本、越後 TEL 211-2547 保健福祉局保健所健康企画課 加藤(由) TEL 622-5151			
全体計画				
事業内容	1 高齢者ひとくち講座事業 高齢者の介護予防のために介護予防センターと食のボランティアが連携し、近くの会館等を会場にして高齢者の食事アドバイス(高齢者のための食生活指針)、軽食の提供等を行う。		＜年度別の事業内容＞	
	2 在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業 在宅療養高齢者に対し歯科医師による訪問診査を実施するとともに、一般高齢者に対して介護予防センター、歯科衛生士などによる地域ケアネットワークを構築し、口腔ケアの普及・啓発を推進することにより口腔状態の維持・改善を図る。		【平成19年度】 1 高齢者ひとくち講座事業 2 在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業 【平成20年度】 1 高齢者ひとくち講座事業 2 在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業 【平成21年度】 1 高齢者ひとくち講座事業 2 在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業 【平成22年度】 1 高齢者ひとくち講座事業 2 在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	1 高齢者ひとくち講座事業 高齢者のための食生活指針の作成 作成費 5,000枚 498千円 2 在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業 訪問歯科診査(委託費) 188人 10,197千円		1 高齢者ひとくち講座事業 ・ひとくち講座委託費(57回) 479千円 ・高齢者のための食生活指針作成費 218千円 ・ボランティア研修費 252千円 2 在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業 訪問歯科診査(委託費) 173人 9,540千円 その他、福祉関係機関等の職員を対象に札幌歯科医師会主催による研修会を2回実施(延べ270人出席)したほか、パンフレットや口腔ケアのDVDを作成・配付し事業周知を図った。	
事業規模	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	1 高齢者ひとくち講座事業 ・高齢者ひとくち講座委託費(71回) 490千円 ・高齢者のための食生活指針作成費 100千円 ・ボランティア研修費 124千円 事業好評のため、ボランティア団体に無理のない範囲で事業拡大を図ることとし、21年度から講座開設回数を年間10回増加。 2 在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業 訪問歯科診査(委託費) 114人 7,573千円 福祉関係職員や市民向けのチラシの再作成と研修用口腔ケアDVDを作成した。		1 高齢者ひとくち講座事業 ・高齢者ひとくち講座委託費(67回) 429千円 ・高齢者のための食生活指針作成費 144千円 ・ボランティア研修費 231千円 2 在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業 ・訪問歯科診査(委託費) 132人 8,010千円 ・歯科医師会会員や市民向けの研修会等を実施しているほか、HP、リーフレットにより口腔ケアの普及啓発を実施した。	
事業件数等				

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-1-3			事業名	高齢者ひとくち講座・口腔ケア推進事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
高齢者ひとくち講座開設回数	—	—	57回	128回 (延べ)	195回 (延べ)	180回以上 (延べ)	
口腔ケアに関する介護予防事業の実施回数	241回	188回	173回	114回	132回	500回	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者ひとくち講座は、区保健福祉部管理栄養士が食のボランティア団体に高齢者の食生活について研修を行い、このボランティア団体が介護予防センター事業に参加する市民(高齢者)に対して食育講座を実施した。</li> <li>・在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業は、介護予防センターや地域包括支援センターに周知し実施しているほか、札幌歯科医師会が独自で訪問歯科診療と併せてパンフ等を作成しPRして実施してきた。</li> </ul> <p>■企業等との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[資金協力](該当なし)</li> <li>[人材協力](該当なし)</li> <li>[情報協力](該当なし)</li> <li>[その他の協力](該当なし)</li> </ul> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(該当なし)</li> </ul>							
評価(成果)				課題			
<p>・ボランティア団体による「高齢者ひとくち講座」の開催 この事業参加者は、20年度876人(57回開催)、21年度1246人(71回開催)、22年度1300人(67回開催)と、多くの市民の参加を得た。</p> <p>・在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業による訪問診査により、通院できない在宅高齢者の咀嚼機能の回復や口腔状態の改善による健康的な生活を支援できた。また、DVD等による関係職員等への研修等を通じ、口腔ケアの重要性とその周知を図ることができた。</p>				<p>・「高齢者ひとくち講座」は21年度から開催回数を増やしたが、ボランティア団体が、地域の会館に出向き試食品を提供し、講話を行う事業であるため、この団体の代表者会議などにおいて、事業負担が大きいと連絡があった。このため、事業回数や内容等について、団体との調整が必要である。また、介護予防センターアンケートでは、より専門的な食生活に関する講話内容を望む声もあり、その検討が必要となっている。</p> <p>・在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業は、平成22年度市民評価(事業仕分け)において不要との結論を得たが、本市の高齢者向けの口腔ケア対策の低下を招かない方策の検討が必要である。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>・高齢者ひとくち講座は、平成20年9月から開始した事業であるが、参加者アンケートでは、常に9割以上の方が「参考になった」「また参加したい」と回答しており、参加者の満足度の高い講座となっていた。しかし、この事業は参加者に試食品を提供し、講話を行う内容としていることから、ボランティア団体の負担が大きく、同様の事業形態の継続は困難な事業である。一方で、介護予防センターアンケートでは、より専門性の高い食生活に関する講座も望まれていることから、管理栄養士の講話なども取り入れた形で、開催回数等を考慮しながら高齢者の食育支援事業を実施していく。</p> <p>・在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業については、平成22年度の市民評価(事業仕分け)において、不要との評価結果であったことから、同事業を平成23年度末に廃止の方向で検討するとともに、ケアマネージャー等への口腔ケアの普及啓発に重点を置いた事業に転換を図っていく。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		3-1-3		事業名	高齢者ひとくち講座・口腔ケア推進事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	13,700	14,500	14,500	14,300	57,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	8,290	8,809	8,809	8,687	34,595	
	市の債	0	0	0	0	0	
予算	事業費	13,700	12,654	12,503	11,521	50,378	
	財源内訳						
	国・道支出金	8,290	7,687	7,501	6,912	30,390	
	市の債	0	0	0	0	0	
実績	事業費	10,695	10,489	8,287	8,814	38,285	
	財源内訳						
	国・道支出金	6,443	6,371	4,971	5,288	23,073	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	1,937	1,992	1,658	1,763	7,350	
	一般財源	2,315	2,126	1,658	1,763	7,862	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)				67.2%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度] 【口腔ケア推進事業】訪問歯科診査の受診者が減少した。							
[20年度] 【口腔ケア推進事業】訪問歯科診査の受診者が年々減少しているため。 【高齢者ひとくち講座】事業開始が9月だったこともあり、一部の区で目標回数が実施されなかった。							
[21年度] 【高齢者ひとくち講座】参加者アンケートで事業好評であったため、21年度は開催回数を増やした。 【口腔ケア推進事業】訪問歯科診査の受診者が年々減少しているため。							
[22年度] 【口腔ケア推進事業】訪問歯科診査の受診者が見込みを下回ったため。							